

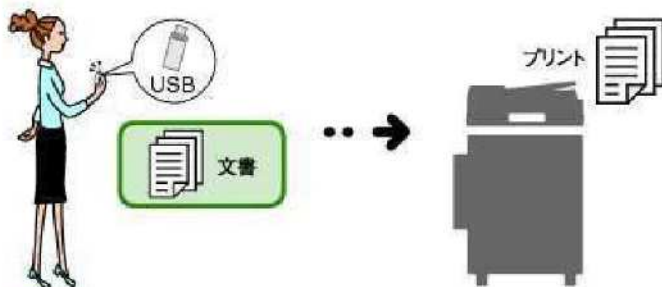
旧規格のUSBメモリーにしか対応していませんが
2階のコピー機でUSBメモリーに保存したPDFが印刷できます。

ホーム > こんな機能があります : プリント > USBメモリーに保存した文書をプリントする > USBメモリーに保存した文書をプリントする

USBメモリーに保存した文書をプリントする オプション

使用できるUSBメモリーとプリントできるファイルについて

本機のパネル前面のUSBメモリー差込口にUSBメモリーを挿入して、USBメモリーに保存した文書をプリントすることができます。



補足

- お使いの機種またはオプションの装着状況によっては、この機能は利用できません。詳しくは、弊社の営業担当者にお尋ねください。

使用できるUSBメモリーの条件

- フォーマット済みのもの（対応しているフォーマットは、FAT12、FAT16、FAT32です。NTFS、exFATフォーマットには対応していません。）
- 最大容量が128GBまでのもの

補足

- コンテンツにアクセスするために別途ユーティリティが必要なメディアパーティションが複数あるUSBメモリーは、使用できません。
- 外付けのハブを介して接続したUSBメモリーは、使用できません。

USB3.0以上未対応
差込口に刺してみ
てファイル内容が
表示されれば対応
しています。

USBメモリーからプリントできるファイル

- PDF ファイル
 - 拡張子：pdf、PDF1.3以上
- TIFF ファイル
 - 拡張子：tif、グレースケール4ビット/8ビット非圧縮、8ビット/24ビットJPEG圧縮、MH/MMR圧縮
- XPSファイル
 - 拡張子：xps、oxps
- DocuWorks文書
 - 拡張子：xdw
- DocuWorksバインダー文書
 - 拡張子：xbd

Word, Excel 未対応。
印刷したい場合は、PDFに変換した
ファイルを用意してください。

- JPEG (JFIF) ファイル

- 拡張子 : jpg

補足

- 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。
- フォルダー名またはファイル名が、日本語の全角文字で85文字を超える場合、対象のフォルダー名またはファイル名は表示されません。
- Mac OSで保存されたPDFファイルは、画面に表示/プリントできません。
- ファイル名に、本機でサポートしていない文字が含まれる場合、画面に表示されません。
- ファイル名に機種依存コードを使用している場合は、ファイル認識や画面表示が正しく行われない場合があります。
- フォルダーの数が900個を超えるUSBメモリーは正しく認識されないことがあります。

USBメモリーに保存した文書をプリントする

- 1 操作パネルのUSBメモリー差込口に、USBメモリーを差し込みます。



- 2 次のいずれかの状態になります。

- [USBメモリー検出] 画面が表示される
- [USBメモリー保存] 画面が表示される
- [文書プリント] 画面が表示される
- [デジカメプリント] 画面が表示される*
- 画面表示は変わらない

*カラー複合機のみ

■ [USBメモリー検出] 画面が表示された場合

- (1) [文書プリント] を選択します。



- (2) [文書プリント] 画面が表示されます。



■ [USBメモリー保存] 画面が表示された場合



(1) 〈メニュー〉ボタンを押して、メニュー画面を表示させます。



(2) メニュー画面で [文書プリント] を押します。



■ 補足

- 「WSD」とは、「Web Services on Devices」の略です。

(3) [文書プリント] 画面が表示されます。



■ [文書プリント] 画面が表示された場合

[文書プリント] 画面で機能を選択します。



4 プリントするファイルを選択します。



5 [閉じる] を押します。



6 必要に応じて、[カラーモード]、[用紙選択]、[両面プリント]、[ホチキス/パンチ] を設定します。

補足

- お使いの機種またはオプションの装着状況によって、選択できるメニューが違います。



7 必要に応じて、[応用] タブの [まとめて1枚 (Nアップ)] と [スムージング] を設定します。



8 〈スタート〉 ボタンを押します。



9 プリントが終わったら、本機からUSBメモリーを抜き取ります。

次ページ ▶

▶ ページトップ